

2.2.2 河川改修の経緯と土地利用の変遷

(1) 河川改修の経緯

- ・ 日野川ダムは、昭和 28 年度から洪水調節を目的として計画され、昭和 40 年度に完成しました。
- ・ 日野川の河川改修は、昭和 34 年の伊勢湾台風の被災による災害復旧助成事業（～昭和 40 年 3 月）と日野川ダム事業が進められてきました。この河道改修計画は、河口から近江八幡市浄土寺町（約 16km）について破堤部の復旧、堤防の嵩上や腹付け、低水路屈曲部の法線是正等が行われました。
- ・ 平成 2 年の災害を契機とした災害復旧助成事業（～平成 6 年）により、河口から近江八幡市野村町（約 2.82km）について、河積の拡大と護岸整備が行われました。
- ・ 平成 8 年度から、広域河川改修事業が行われ、現在に至っています。

(2) 土地利用の変遷

次頁に示す航空写真から土地利用等の変遷を整理すると以下の特徴があります。

< 名神高速道路以北 (P.18 参照) >

- ・ 昭和 40 年頃、善光寺川や惣四郎川の改修が行われ、沿川の圃場整備が行われました。また、その後、新川の改修が行われ、蛇行していた川の流れが直線化されました。
- ・ 戦後から平成 2 年までに、集落が徐々に広がっています。竜王町内においては、JA や竜王中学校が新川沿川に建設されています。
- ・ 平成 2 年頃までに、西横関地区の国道 8 号沿いと弓削地区の日野川沿川に工場が新設されました。
- ・ 平成 2 年頃、川守地区の樹木群が伐採され、運動公園が建設されました。

< 名神高速道路以北 (P.19 参照) >

- ・ 昭和 45 年名神高速道路の供用が開始されました。日野川左岸地区のほとんどは盛土構造により建設されていますが、葛巻地区については、盛土構造物とした場合、法教寺川の越水によって地区内が浸水する恐れがあることから、事業者と地元との協議の上、避溢橋（高架橋方式）として整備されました。また、法教寺川と日野川の合流点においては大規模な樋門が整備されました。
- ・ 昭和 49 年ダイハツ竜王工場が操業開始されました。昭和 43 年当時の状況から、大規模な開発が日野川流域の山地部で行われている様子がうかがえます。また、その後、ダイハツ工場の東側に大規模な宅地開発が行われております。
- ・ 平成 2 年頃、葛巻地区の北東の樹木群が伐採されました。また、さらに上流の宮上橋右岸の樹木群も伐採され、運動公園が整備されました。

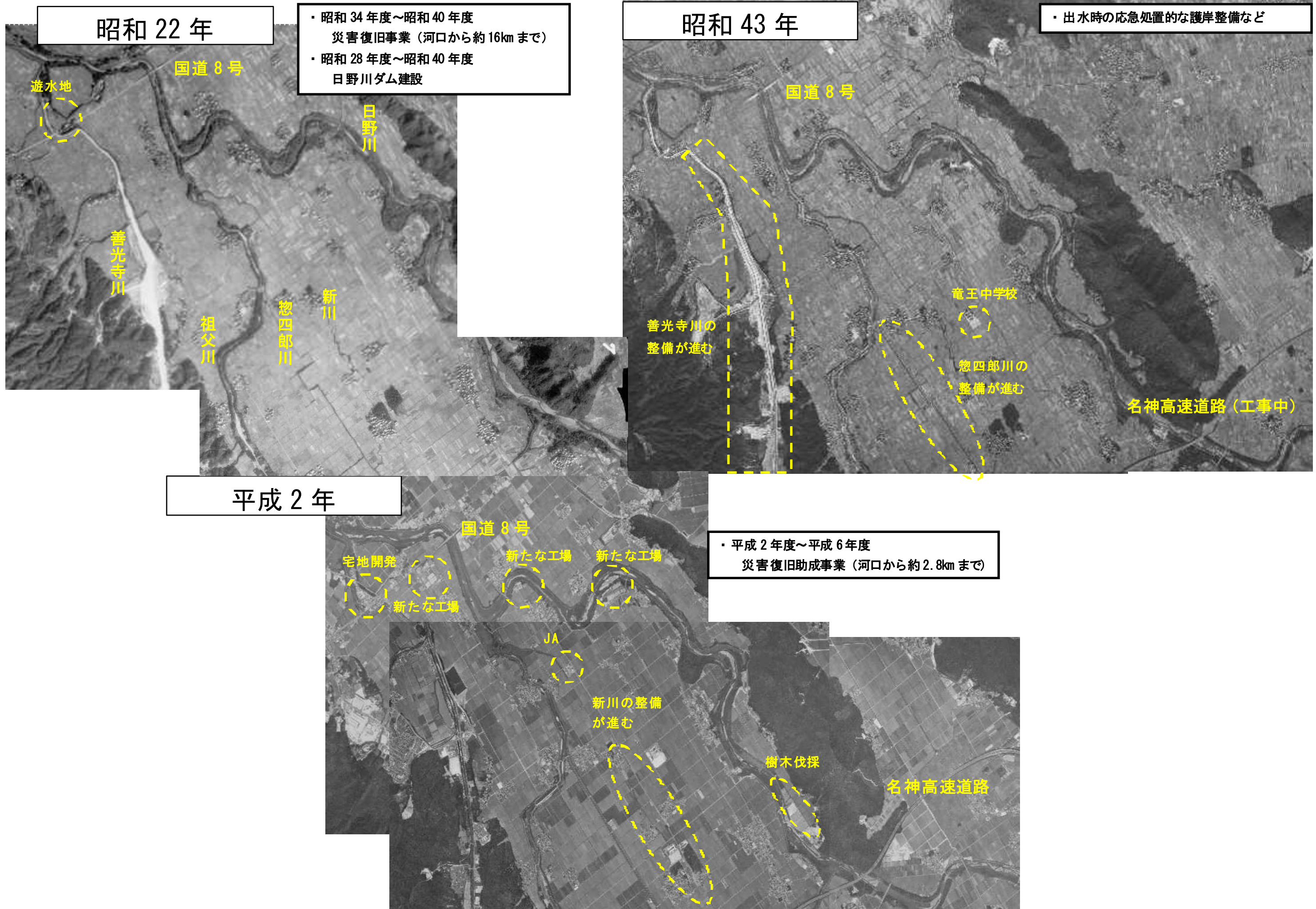
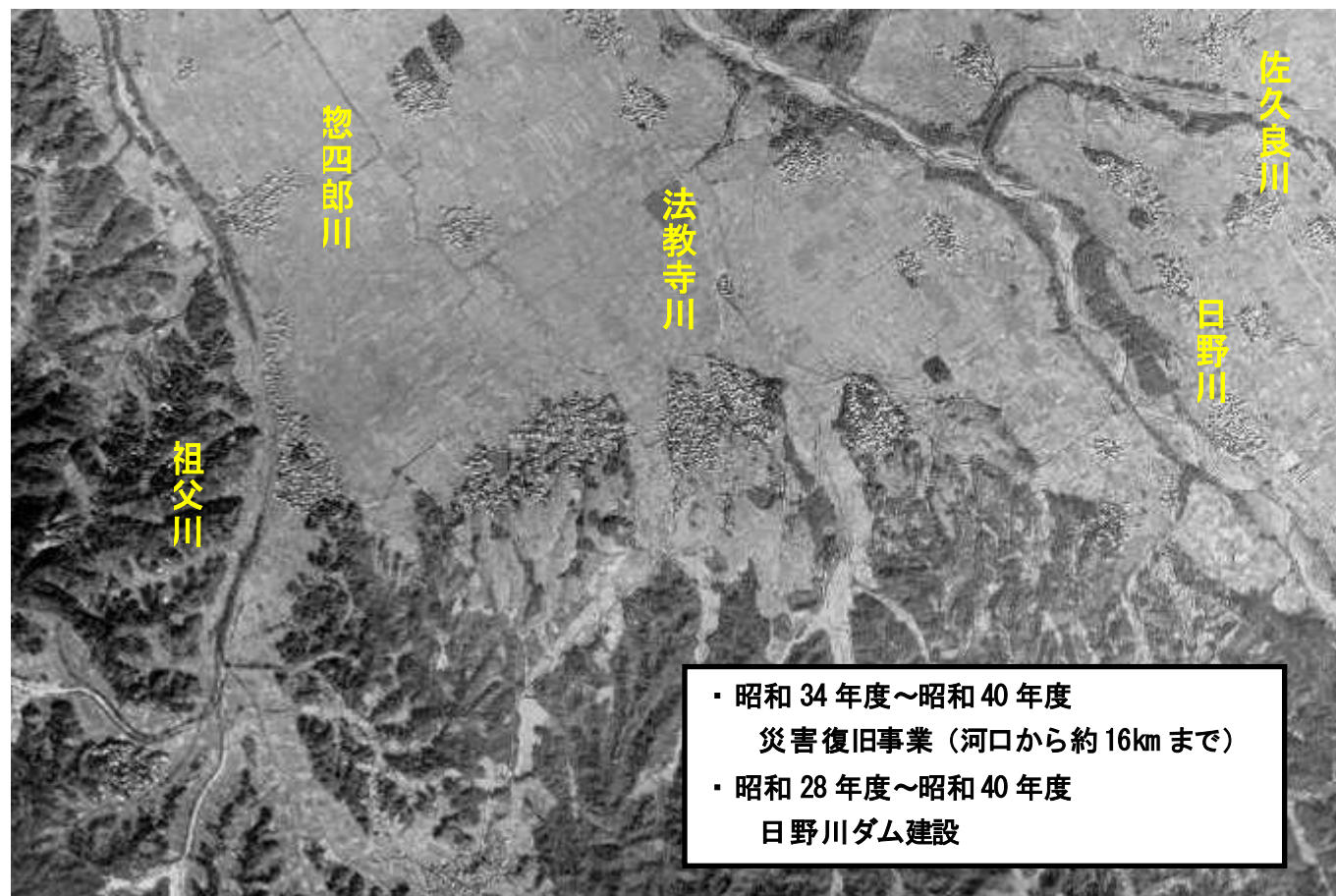
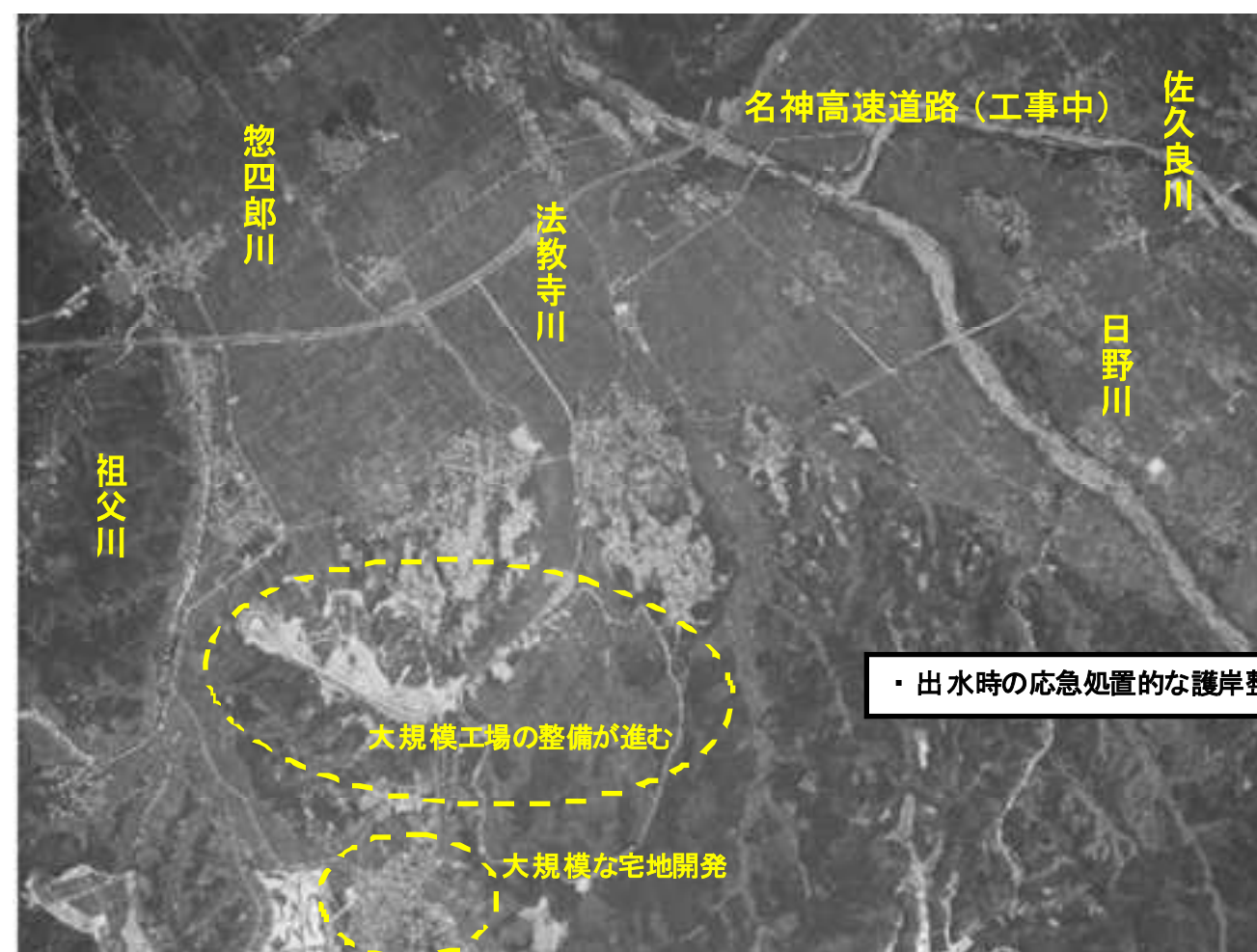


図 2.2.2 土地利用等の変遷（日野川左岸地区）

昭和 22 年



昭和 43 年



平成 2 年

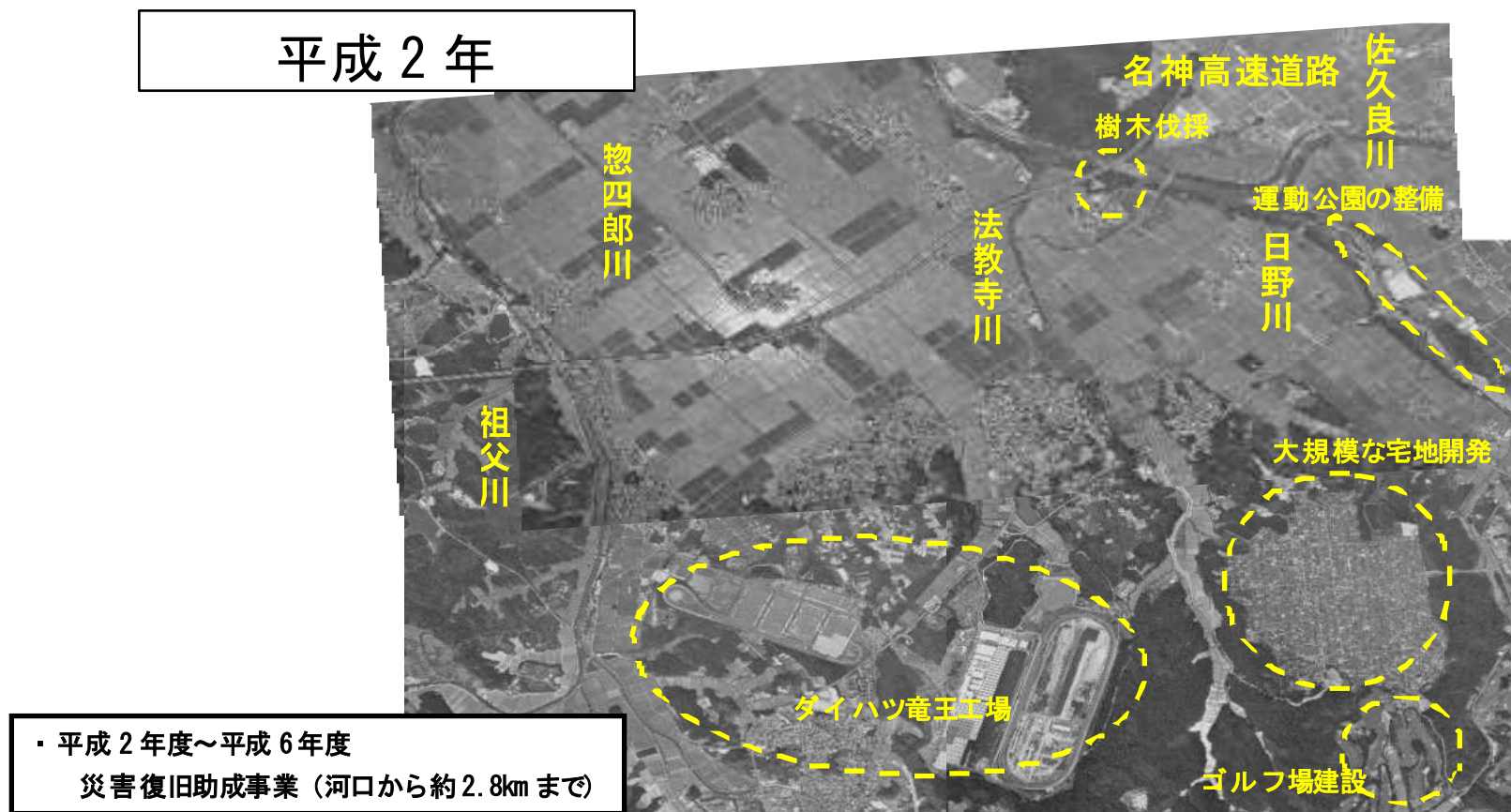


図 2.2.3 土地利用等の変遷（日野川左岸地区）